

事務事業評価シート

評価対象年度 平成 19 年度

【事務事業の基本的事項】

事 務 事 業 名	作業道開設事業費					
担 当 課 係 名	農 林 課		林 務 係		作成者	田口幸栄
総 合 計 画 で の 位 置 づ け	施策の大綱	特色ある資源を活かした産業創造のまち				総合計画の ページ
	基本計画	森林の整備と林業の振興				
	主要施策	林内路網の整備				66
予 算 費 目	一般 会計	6 款 農業費	2 項 林業費	2 目 林業振興費		
事 業 期 間	平成 19 年度 ~ 平成 22 年度			新規 / 継続の区分		継続
性 質 区 分	☐ 市民サービス ☒ 公共事業 ☐ 施設維持管理 ☐ 補助金 ☐ 内部管理					
根 拠 法 令 等	森林法					
事 務 区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務					
運 営 方 法	☒ 直 営 ☐ 直営（一部民間委託） ☐ 民間委託(全部) ☐ 補 助					

【事務事業の実施内容】

事業の対象 （誰のため・何を）	地区の森林所有者
事業の目的・意図 （どういう状態にしたいのか）	補助採択基準に合致しない作業道を市単独事業で開設する。
事業の内容 （どのような業務、活動を行うのか）	市道や林道から造林地まで、幅3.6mの林業用作業道路を開設する。

【事務事業の推移】

（単位：千円）

		項目	単位	18年度実績	19年度実績	年度実績
効果	活動指標	作業道を開設する	m	234	100	
	成果指標					
投下コスト	項目		総事業費	18年度決算額	19年度決算額	年度決算額
	事業費（人件費を除く）(A)			882	1,450	
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他				
		一般財源		882	1,450	
	人件費 (B)		—	628	646	
		職員数	—	0.1	0.1	
		職員平均人件費	—	7,853	8,071	
		(A) + (B) 投下コスト	—	1,510	2,096	
単位コスト	活動指標1単位当たりコスト(円)		—	6,453	20,960	
	市民1人当たりのコスト(円)		—	47	67	

【事務事業の今までの成果】

間伐材や素材搬出の経費が削減され、森林所有者の売払い収入が向上している。

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	国は、森林機能の向上を、二酸化炭素排出削減の効果を上げるための取組みのひとつにとらえている。
事業に対する市民の意見 (事業に対する期待、要望、苦情等)	県単事業での簡易な作業道開設事業の制度化を要望していきたい。

【一次評価】

判 定	事 業 の 方 向 性		判 定 に 至 っ た 理 由
A	A	現状のまま継続（実施）	林地の条件により、作業道の開設が採択基準に合致しない地域の森林所有者の造林意欲の向上を図るため。
	B	見直しの上で継続（実施）	
	C	大幅な見直しの上で継続（実施）	
	D	休止・廃止（統合を含む）を検討する事業	

一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容（改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。）

【二次評価】

判 定	判 定 に 至 っ た 理 由
A	森林の荒廃を防ぎ、森林の持つ多面的機能の保全を図るなど、造林事業の効率化を進めるためにも引き続き必要な事業と考える。

一次評価診断図

